

総合エクステリアメーカー
カスケードガレージのニ ッ コ ウ キ ン ソ ク

株式会社 日江金属

オリジナル製品「カスケード」は「滝の流れる状態」に由来し、流れるような曲線のフォルムが特徴(上部側面)

他社にはない技術
北海道の「カスケードガレージ」といわれるようになった背景には、独自の技術の裏付けがある。折板の折り曲げ技術のノウハウと、たかすけの曲げ技術のノウハウと、し北の環境にも耐え、基礎法における北海道全域の垂直積雪量に対応できる。耐久性高、高級塗装鋼板の特性を生かしながら、カラフルなカラーシネートが実現できる。パリ

1984年通産省選定グッドデザイン商品、1996年ロッドグライデザイン賞受賞



主力商品は圧倒的シェアを誇るガレージ
日江金属は、ガレージやカーポート、物置、トランクルームなどのエクステリア商品を製造販売する企業である。車のエクステリアとしては、カーポートとガレージがあるが、北海道は冬の降雪の影響で、圧倒的にガレージの割合が高い。道を歩いていて見かけのガレージが多く、日江金属のシェアを占めている。

日江金属2018年度企業スローガン



「見たことのないデザインを生み出せ」
Infinitely create new ideas.

新しい船出と指針
二〇一七年、日江金属は、エア・ウオターグループの一員となり、経営理念も行動指針も新たに設定された。経営指針は「創業者精神を持って空気、水、そして地球にかかわる事業の創造と発展に英知を結集する」。行動指針は二つあり、一つ目は「脚下照顧」で、過去を顧み、足下を見極めて将来に備えるという意味を持つ。その指針の実践で心がけるのが「一つの指針」「横議横行」である。組織の壁を超えて議論し、枠にとらわれず行動せよ、という内容となっている。日江金属もまたこの指針によって、永続的に発展する企業として事業活動に取り組み、従業員個人の人々の成長も追求することになった。

指針を実践して新しいビジネスチャンスをつかむ
① 新用途のニーズを活かす
道外ではガレージを車庫ではなく、趣味のスペースとしても使われ始めています。使いやすさでニーズの掘り起しに挑戦している。

蓄積した技術を新商品開発に活かす
②
ガレージのノウハウを活かしたバイクガレージや宅配BOXの製造に挑戦している。必ず日江金属の強みを得ていることで高い評価を得ている。



宅配BOXは物件選びでのラスト設備。創意工夫で差別化に挑戦。



多くの展示会で注目されている商品。蓄積された技術は製品に活かされる。

～取材を終えて～



(前列左) 小林社長
(前列右) 商品開発グループ主任 櫻井ちひろさん

道民ならテレビCMでお馴染みの「カスケードガレージ」。有名メーカーとしての地位に安住することなく、消費者ニーズの変化には「見たことのないデザインを生み出せ」と挑戦する姿勢に感動しました。さらに、工場見学をさせていただき、従業員の方々の誠実な仕事がかスケードガレージの信頼を着実に創り出しているのを感じました。

～若者へ一言～

若者には大企業ばかりでなく、中小企業にももっと目を向けてほしいですね。意欲があれば若くても評価されて役職に就くこともできます。江別には良い企業がたくさんあるので、是非、広い視野で会社選びをしてほしいですね。



代表取締役社長 小林 隆さん

■会社データ■

代表取締役社長 小林 隆
本 社 北海道江別市工業町3-5
(本社TEL: 011-382-7711 FAX: 011-382-7722)
旭川営業所 北海道旭川市台場1条5丁目1-21
東北営業所 宮城県仙台市宮城野区中野1丁目5-27